

(4) ②様式第4号-2 (報告書)

※文字のフォント、大きさは Meiryo UI /12 ポイント以上とし、行間・文字間、上下左右の余白は変更しないでください。

※写真は、進行プログラムに沿って適宜、右ページに簡単な説明文を添えて貼り付けてください。

※必ず A3 片面 1 枚におさまるように作成してください。ファイルサイズは 5 MB 以下としてください。

NITS・教職大学院等	実施機関名・連携機関名 熊本大学教職大学院
コラボ研修プログラム	事業名：NITS・熊本大学教職大学院コラボ研修 教職員の働きやすい職場環境の構築を目指して～若手からベテランまで、みんなの強みを生かした組織～
支援事業報告書	研修等名：【NITS・熊本大学教職コラボ研修】 魅力ある職場としての学校づくり～働きやすい職場環境について考えよう～
	開催日時：令和4年10月15日 9時～12時 開催場所：熊本大学（熊本県熊本市中央区黒髪2丁目39-1） 参加人数（総数）と参加者の属性：（総数：73名）、対面36名、オンライン37名

内容：

1. 講演「カラフルな学校運営～魅力ある職場としての学校づくりの本質に迫る～」

講師：湘南学園 学園長 住田昌治 氏

日本の職場の人間関係は世界最低レベルだといわれている(沢渡あまね 2021)。人間関係がうまくいかない原因として「みんな同じように見えている・感じている」と思い込んでいることが挙げられる。人間関係を円滑にするために、「みんな同じように見えている・感じているとは限らない」ということを理解し、相手により質問をし、相手の話を傾聴し、相手の話をよく聞くことが重要である。また、そのことによって自身の視野を広げることにつながる。

※名刺交換のワーク、働きやすい職場について語り合うワークを実施

2. パネルディスカッション「みんなで創る働きやすい職場」

熊本県、熊本市の公立小中学校の校長先生による「働きやすい職場」についての実践発表を行い、さらに教員を目指す大学院生の不安についてパネリストで協議し、若手教員、中堅教員、管理職と様々な年代の教員が、働きやすい職場づくりのためにそれぞれの立場で実践していることや、心がけていることなどについて、コミュニケーション、感情のコントロール等の視点で意見交流を行った。

住田氏によるまとめとして、様々な年代の教員が、互いにコミュニケーションをとり互いの理解に努めながら、学校に関わる全ての人々が幸せになるような学校づくりをしていくことの重要性について述べられた。

成果：参加者の事後アンケート結果より

- ・講演「カラフルな学校運営」…「満足」96.3%、「やや満足」3.7%
- ・パネルディスカッション「みんなでつくる働きやすい職場」79.6%、「やや満足」20.4%

(自由記述)

- ・ワクワクして仕事をする、人と関わるのが子どもたちや周囲の人たちにより影響を与える、ということが一番心に残っています。1人ではなく多くの人と関わって仕事をしていることを忘れず、日々コミュニケーションを積極的にとっていきたく思いました。
- ・講演、パネルディスカッションを聞いて、改めてこれからの職場に大切なこと、自分にできることは何かを考えることができました。若手でも、自分にできることから学校づくりに参画しようと思えました。
- ・今回、この研修に参加し、とても充実した研修で満足感がありました。今の職場では、職員の対話がよくできていると感じています。対話の大切さを改めて感じました。自分自身がワクワクすることを意識しながら、今後も教育に携わって行きたいと思えました。

アイデアや工夫したこと：

- ・対面とオンラインのハイフレックス方式による研修を行うことで、県内外を問わず多くの教職員が参加できるようにした。
- ・「働きやすい職場づくり」は、管理職だけでなく、若手や中堅、ベテランの教員などそれぞれの立場で取り組むことができると考え、様々な年代のパネリストによるパネルディスカッションを実施した。特に、ストレートマスターにも企画段階から意見を聞き、積極的な参加を促した。
- ・オンライン参加者に対して、会場の様子や、研修の内容が伝わるよう、プレゼンテーションの共有や、カメラワーク、音声の調整に配慮した。

<写真・図など>



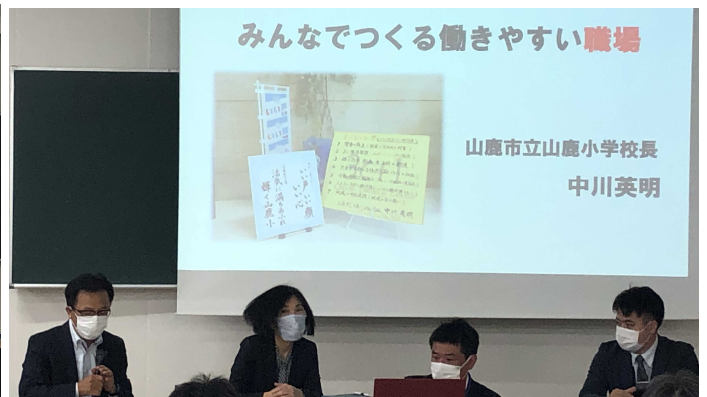
開会 藤中教授 主催者挨拶



趣旨説明 遠坂幸子氏



講話 住田昌治氏



パネラー 中川英明氏



パネラー 田口恵子氏



会場の様子



パネルディスカッション